

- 今年のコシヒカリの幼穂形成期は、5月9日田植えで7月10日頃と予想されます。
- 分施の場合は、幼穂長15mmの頃のイネの生育状況に応じて、適期に適量の追肥を行いましょう。
- 基肥一発施肥体系の場合は、7月25日頃に葉色を確認し、葉色が薄い場合は追加穂肥を行いましょう。

### 1. 7月1日現在のコシヒカリの生育状況

(調査地点：白井谷)

調査年	田植日	草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色	幼穂形成期	出穂期
			本/株	本/m <sup>2</sup>				
R元年	5/9	56.4	25.3	582	10.9	4.1	7/10頃	7/31頃
H30年	5/12	52.8	20.9	412	11.0	4.3	7/9	7/29
H22~30平均	5/11	56.0	25.3	482	11.1	4.2	7/10	7/31

### 2. コシヒカリの穂肥対応

#### <基肥一発施肥体系の場合>

- ・7月25日頃に葉色を確認しましょう。
- ・葉色が4.0以下と薄い場合は、出穂3日前までに「追肥3号」で5~10kg/10aを施肥しましょう。

#### <分施体系の場合>

- ・穂肥施用時期を判断するため、まずは幼穂形成期（幼穂長2mm）を確認して、施肥作業に備えましょう。
- ・次に1回目の穂肥量を判断するため、幼穂形成期の8日後（幼穂長15mm）頃に生育状況を確認しましょう。
- ・その生育状況に応じて、下表のとおり施肥量を決め、適期に施肥しましょう。
- ・穂肥は「追肥3号」を使用しましょう（窒素成分15%）。
- ・2回目の穂肥は1回目の施肥の有無に関わらず下表の時期を参考に必ず施肥しましょう。

#### ○幼穂長15mmの頃の生育に応じた穂肥の施肥時期、施肥量の目安

幼穂形成期から 8日目頃の生育状況			1回目穂肥		2回目穂肥	
			施肥時期	施肥量 (kg/10a)	施肥時期	施肥量 (kg/10a)
草丈	85cm未満	適正	幼穂長15mm (幼穂長2mm確認から 8日目)	10	1回目穂肥の 1週間後	12
葉色	3.6程度					
草丈	85~90cm	やや 旺盛	幼穂長20mm (幼穂長2mm確認から 10日目)	7~10	1回目穂肥の 1週間後	10~12
葉色	3.8程度					
草丈	90cm以上	生育 過剰	施肥しない		幼穂長2mm確認から 15日頃 (出穂1週間前頃)	10~12
葉色	3.8程度					

### 3. 当面の水管理 ～根、稲体の活力を高く維持できる水管理を～

#### <幼穂形成期から出穂期>

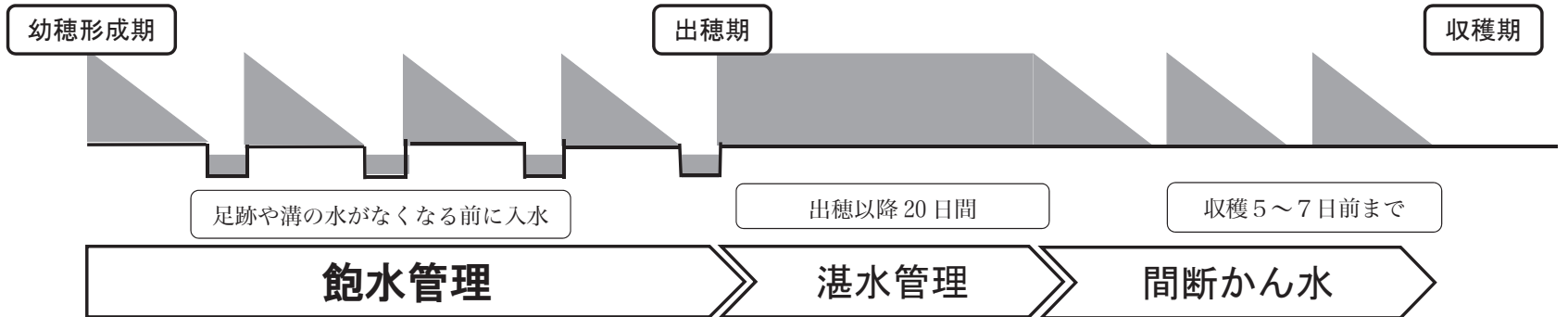
- ・自然減水と足跡や溝に水がなくなる前での入水を繰り返す**飽水管理**をしましょう。

#### <出穂期から20日間>

- ・田面が出ない程度の湛水管理をしましょう。

#### <出穂期20日後から収穫5～7日前まで>

- ・1日湛水、3日程度落水の**間断かん水**で根の活力を維持しましょう。
- ・フェーン現象の発生が予想された場合は、事前に入水して備えましょう。



### 4. 病虫害防除

#### <畦畔の草刈りによる防除>

- ・「斑点米」の発生を防止するため、畦畔の草刈りを行い、斑点米カメムシ類の発生と稲への加害を徹底して防ぎましょう。
- ・水稻出穂前までは、畦畔等の雑草が出穂または開花する前までに刈り払いましょう。

#### <農薬散布による防除>

- ・農薬の散布時期は、イネの生育状況（出穂状況等）を確認して行いましょう。
- ・「てんたかく」と「コシヒカリ」では防除時期が異なるので、下表を目安に適期防除に努めましょう。

#### ○防除時期の目安

品種(田植時期)	てんたかく(連休植え)		品種(田植時期)	コシヒカリ(5月10日頃植え)	
出穂予想	7/20～22頃		出穂予想	7/30～8/2頃	
散布時期	薬剤名、散布量	対象病虫害	散布時期	薬剤名、散布量	対象病虫害
穂揃期 7/23～25頃	ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a (収穫7日前まで)	いもち病 ウンカ類 イナゴ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	出穂始期 (1～2割 が出穂) 7/30～8/1頃	ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a (収穫7日前まで)	いもち病 ウンカ類 イナゴ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類
傾穂期 7/30～8/1頃	キラップ粉剤DL 4kg/10a (収穫14日前まで)	ウンカ類 イナゴ類 カメムシ類	穂揃期 8/6～8頃	キラップ粉剤DL 4kg/10a (収穫14日前まで)	ウンカ類 イナゴ類 カメムシ類

- ★農薬は使用基準を守って、正しく使用しましょう。
- ★農薬の飛散を防止するため、風がない時間帯に散布しましょう。
- ★農薬の使用後は、速やかに記帳しましょう。
- ★熱中症対策や作業時の足元の安全確認も行う等、安全に留意しましょう。